TOP・TOE継続研鑽(CPD)認定プログラム(聴講：A01.(2) 4H単位，発表：A04.(1)20N単位)
交通工学研究会は建設系CPD協議会に加盟しています

JSTE 第８回

JSTE シンポジウム(長野)

JSTEシンポジウムは、交通工学研究会における各種委員会の講習会やセミナー、ミニシンポジウム、開催地およびスポンサー企業の企画を併せ持ち、一度に様々な体験が可能な、いわば交通工学のショーケース的な位置づけのイベントです。

毎年11～12月頃に全国各地で巡回開催しており、第8回となる今回は、長野県長野市での会場参加とオンライン参加を選択できる方法で開催予定です。

本シンポジウムは、交通工学に関わる最新の技術動向について情報を得ることができ、交通工学に携わる技術者や行政担当者のネットワークを拡げる格好の機会です。研究者のみならず、実務に携わる方々の参加を特に歓迎します。お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。

交通工学に関する最新技術・情報のショーケース

全体セッション、各種委員会・スポンサー企業によるセッション、地元特別セッション、若手技術者発表セッション、技術紹介セッション、展示ブース、交流会が一堂に集結！

■日時：2026年11月26日(木)・27日(金)

■会場：ＪＡ長野県ビル

〒380-0826　長野市大字南長野北石堂町1177番地3　https://www.naganoken-jabill.co.jp/

※会場参加とオンライン参加(Zoom)のハイブリッド開催を予定

■申込み方法

申込みは、交通工学研究会ウェブサイトのJSTEシンポジウムに関する情報(https://www.jste.or.jp/research_activities/jste-symposium/)の参加申込リンクからの事前申込をお願いします。

プログラム・開催方法の詳細やキャンセル、悪天候時の対応、その他注意事項などについて、交通工学研究会のウェブサイトにて、情報を随時更新して参りますのでご参照下さい。

■参加費：登壇者、聴講者 共通（消費税 10%を含む）

① 早期割引申込　11 月　5　日(木)まで（早期割引入金期限 11 月９日(月)）
正会員　9,900 円、特別会員 12,540 円、非会員 18,480 円、学生無料、地元参加者 3,300 円

② 11 月　6　日(金)以降
正会員 13,200 円、特別会員 15,840 円、非会員 21,780 円、学生無料、地元参加者 3,300 円

※地元参加者　：長野県内の企業・団体に所属の方
※お支払い方法：①の期間･･･クレジット決済、郵便振替・銀行振込　②の期間･･･クレジット決済のみ
※交流会会費　：5,500 円（事前に交通工学研究会ウェブサイトのイベント一覧からお申込み下さい。）

■主催：一般社団法人　交通工学研究会

■後援(予定)：国土交通省、警察庁、長野県、(一社)建設コンサルタンツ協会

■スポンサー企業（区分-順不同）：

CTI 株式会社建設技術研究所　MS&AD あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
IBS 一般財団法人 計量計画研究所 The Institute of Behavioral Sciences
株式会社オリエンタルコンサルタンツ ORIENTAL CONSULTANTS
セフテック株式会社 SAFTEC
株式会社片平新日本技研 KATAHIRA & ENGINEERS INC.
国際航業株式会社
首都高速道路株式会社
住友電工システムソリューション Connect with Innovation
i-Transport Lab. Co.,Ltd.
NTT DATA 株式会社NTTデータ数理システム
株式会社 長大
株式会社 道路計画 流れをみつめ、未来を拓く Mobility Innovation
東和航空輸送株式会社 IATA
PTV GROUP part of Umovity
トヨタテクニカルディベロップメント株式会社 TOYOTA TECHNICAL DEVELOPMENT CORPORATION
阪神高速道路株式会社
Mobilytix
NEXCO 東日本　NEXCO 中日本　NEXCO 西日本
Pacific Consultants
HCS HINO Computer System
株式会社 福山コンサルタント FUKUYAMA CONSULTANTS CO.,LTD
HONDA
三井共同建設コンサルタント株式会社
yec 八千代エンジニヤリング株式会社

一般社団法人 交通工学研究会
https://www.jste.or.jp/
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23

■プログラム　※プログラムは変更する場合があります。詳細は、交通工学研究会ウェブサイトをご参照下さい。

地元特別セッション　国土交通省・警察庁セッション　スポンサードセッション　委員会・研究Gセッション　若手技術者・技術紹介セッション　ランチョンセッション

第 1 日目　11/26（木）

時刻	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場
9:00 ～ 10:30	A-1 平面交差の計画・設計・制御の研究 『（仮）平面交差の計画と設計 応用編』出版に向けて 小根山裕之（東京都立大学）	A-2 トヨタテクニカルディベロップメント(株) デジタルツイン×メタバースによる仮想交通空間データ生成と評価 伴和徳（トヨタテクニカルディベロップメント(株)）、山本俊行（名古屋大学）	A-3 (株)道路計画 交通課題解決に向けた画像処理技術の現在地と展望 大宮博之（(株)道路計画）
10:45 ～ 12:15	全体セッション（JSTE の活動紹介、地元からの話題提供、技術賞記念発表など）		
12:30 ～ 14:00	B-1 生活道路の交通安全対策に関する研究 今こそ、生活道路のゾーン対策を考えよう！ ～生活道路の法定速度 30 キロをふまえて～ 寺内義典（国土舘大学）	B-2 若手技術者発表セッション①	B-3 技術紹介セッション
14:15 ～ 15:45	C-1 国土交通省セッション 道路行政に関する最近の話題 古川慎治（国土交通省）	C-2 (株)片平新日本技研 からだの反応から交通を考える。～90 日間のセルフ計測による人間と行動の関係の考察～ 関皓介（(株)片平新日本技研）	C-3 高速道路における交通マネジメントに関する研究 高速道路合流部における交通マネジメント 和田健太郎（筑波大学）
16:00 ～ 17:30	D-1 警察庁セッション 警察における交通対策 ～自動運転、交通管制、地域に密着した交通対策等について～ 田中伸治（横浜国立大学大学院）	D-2 地元特別セッション((一財)計量計画研究所) リニア中間駅、交通の新たな拠点へ～人が出会い、ビジネスがつながる 長野県を例に～ 毛利雄一（(一財)計量計画研究所） 高瀬達夫（信州大学）	D-3 パシフィックコンサルタンツ(株) 多発する自然災害を踏まえた道路啓開計画実務への展開について 畑中克好（パシフィックコンサルタンツ(株)）
17:45 ～19:15	交流会　（会場:JA 長野県ビル 13F 食堂しなの木、事前申込制）		

第 2 日目　11/27（金）

時刻	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場
9:00 ～ 10:30	E-1 高速道路の案内標識体系の再構築に関する研究 わが国の高速道路の案内標識の現状と課題，今後のあり方 鈴木弘司（名古屋工業大学大学院）	E-2 (株)長大 中山間地域(地方部)の持続可能な「交通空白」解消に向けて（仮） 内海泰輔（(株)長大）	E-3 (株)アイ・トランスポート・ラボ 信号制御研究の実務への展開と展望 堀口良太（(株)アイ・トランスポート・ラボ）
10:45 ～ 12:15	F-1 変則的な車線運用時の交通状態量および交通運用方法に関する研究 既存ストックを活かす「変則的な車線運用」の体系化と効果検証 山本隆（中日本高速道路(株)）	F-2 (株)福山コンサルタント 地方都市における交通まちづくり ～小諸駅を拠点とした街づくりの実践～ 松本隼宜（(株)福山コンサルタント）	F-3 ラウンドアバウト技術指針出版小委員会 豊かな社会の実現に寄与するラウンドアバウト ～世界は進む，日本はどうする? 中村英樹（名古屋大学大学院）
12:30 ～ 14:00	G-1 二段階横断施設の計画・設計・運用マニュアル小委員会 二段階横断施設への期待と普及に向けた取り組み 鈴木弘司（名古屋工業大学大学院）	G-2 若手技術者発表セッション②	G-3 道路安全診断小委員会 ひろがってきた道路安全診断の取り組み 小早川悟（日本大学）
14:15 ～ 15:45	H-1 道路の交通容量とサービスの質に関する研究 道路交通サービスの質の向上に向けた課題と今後の展開～道路の交通容量(改訂版)を踏まえて～ 内海泰輔（(株)長大）	H-2 八千代エンジニヤリング(株) 高齢者の移動を守り、事故リスクを減らす「まち×データ」のイノベーション 大竹政慶（八千代エンジニヤリング(株)）	H-3 (株)建設技術研究所 AI オンデマンド交通を入れれば地域の交通課題が解消するって本当ですか!? 吉田颯人（(株)建設技術研究所）
16:00 ～ 17:30	I-1 高速道路会社セッション 情報提供によるこれからの交通マネジメント 下川澄雄（日本大学）	I-2 (株)オリエンタルコンサルタンツ 自動運転の社会実装を踏まえた今後の課題と留意点 Part8 塩見康博（立命館大学）、神戸信人（(株)オリエンタルコンサルタンツ）	I-3 信号機ガイドブック出版小委員会 『信号機本』ができるまで ―信号機の魅力をどう伝えるか― 光安皓（パシフィックコンサルタンツ(株)）

スポンサードセッション

展示ブース



■A-2　トヨタテクニカルディベロップメント(株)



■A-3　(株)道路計画


■C-2　(株)片平新日本技研



■E-2　(株)長大


■E-3　(株)アイ・トランスポート・ラボ


■F-2　(株)福山コンサルタント



■H-2　八千代エンジニヤリング(株)



■I-1　高速道路会社セッション



■H-3　(株)建設技術研究所

委員会・研究グループセッション


■ F-1　変則的な車線運用時の交通状態量および交通運用方法に関する研究


■ F-3　ラウンドアバウト技術指針出版小委員会

地元特別セッション



■ D-2　(一財)計量計画研究所